

事業計画書

事業名		ハートフルスポーツの集い
団 体	名称	NPO 法人スポーツライフ '9 1 天城
	住所	倉敷市藤戸町天城 6 0 番地
	遂行責任者	葭野浩道

1 団体の目的

* 定款, 規約, 会則等に定めている目的を, そのまま転記してください。

地域住民がともに参加できるスポーツを通じて、心身ともに健やかな生涯を送ることができる地域社会の形成に寄与することを目的とする。

2 事業の分野

* 次のいずれか該当する分野にをしてください (複数選択可)。

保健, 医療又は福祉の増進 社会教育の推進 まちづくりの推進

観光の振興 農山漁村又は中山間地域の振興 学術, 文化, 芸術又はスポーツの振興

環境の保全 災害救援 地域安全 人権の擁護又は平和の推進 国際協力

男女共同参画社会の形成の促進 子どもの健全育成 情報化社会の発展

科学技術及び学術の推進 経済活動の活性化 職業能力の開発及び雇用機会の創出

消費者保護 団体の運営又は活動に関する連絡, 助言又は援助

3 現状と課題

(1) 地域の状況や市民ニーズ

平成 2 3 年 6 月にスポーツ基本法が制定されました。

その前文には『スポーツは世界共通の人類文化である。』、『スポーツを通じて、幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であり、全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適正等に応じて、安全かつ公正な環境の下で、日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、またはスポーツを支える活動に参画することができる機会が確保されなければならない。』とされています。

また、第 2 条(基本理念) 5 に、『スポーツは、障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、障害の種類及び程度に応じ必要な配慮をしつつ推進されなければならない。』と定められています。

この法に則した活動が倉敷市で行われているでしょうか。全国的に見ても障害者のスポーツ活動が積極的に推進されているとは言えません。

倉敷市においては障害者のスポーツニーズの調査さえも行われているとは思えません。

過去のクラブの活動で、障害者はスポーツ活動に飢えていると思います。

(2) 本事業で取り組む地域課題

倉敷市においては、現在まで、スポーツ基本法第 2 条 5 に定められている法律を誠実に実行する政策も打ち出されていません。

全国 1 1 5 か所ある障害者専用体育施設も倉敷市にはありません。

障害者のスポーツを推進している団体もありません。

障害者施設においても積極的に障害者のスポーツを普及推進している様子も見えてきません。

4 目的と概要

(1) 事業の目的

スポーツ基本法の精神を具現化し、倉敷市の障害者のスポーツにおける課題解決を目指す活動が『ハートフルスポーツの集い』です。

この事業は、対象を、障害者と高齢者と児童とし、いわゆる、スポーツ弱者の連携を目指しました。これは、ライフステージに応じたスポーツを提供することで、スポーツ弱者の生きがいづくりになります。

また、だれもが容易にスポーツに参加できる環境づくりになります。

三者が共通して行うことのできるスポーツの普及推進を目的とします。

(2) 事業の概要

障害者と高齢者と児童がともにできるスポーツを行います。

当クラブの所有するスポーツの中から参加者の状態に適したスポーツを選択し、毎回数種目を持参します。

参加者は複数のスポーツの中から、自分に適したスポーツを参加者でチームを作り、あるいは個人で行います。

個々のスポーツにはそれぞれスタッフが指導に当たります。

5 受益者と効果

(1) 事業の受益者

障害者、高齢者、児童及び付き添いの人

障害者の施設職員、これから障害者福祉を志す学生

障害者のスポーツを推進すべき立場の人

(2) 事業の実施に期待する効果

障害者、高齢者は、身体状況に応じたスポーツを見出すことができる。

児童がスポーツ嫌いになる原因は学校体育と子供会・スポーツ少年団のスポーツ活動と
言われていますが、自分に適したスポーツを見出すことができる。

施設職員は施設の状況に応じたスポーツを見出すことができ、施設でのスポーツ・レク
リエーションのバリエーションが拡大する。

障害者スポーツを推進する立場の人は、いわゆる、障害者スポーツの枠を超えた推進体
制構築のヒントとなる。

すなわち、スポーツ基本法に掲げる国民の 3 分に 1 が日常的、継続的にスポーツ活動
する倉敷市が将来実現する。

6 団体の能力

(1) 団体が持つ能力

人にやさしいスポーツ用具を 4 0 種目程度保有している。

設立以来 2 5 年高齢者や児童、障害者のスポーツ活動を企画・立案運営してきたスタッ
フがいる。

文部科学省が平成 2 4 年度より実施した、『健常者と障害者のスポーツ・レクリエーシ
ョン活動連携推進事業』を全国唯一 3 年連続受託し、全国の模範となるべき活動を実施して
きた。

(2) 能力の活用

* 課題解決に向けて、団体の能力がどのように役立ちますか。

多数の用具を所有しているので、新規購入の必要なし。ただし、経年劣化の備品の購
入必要あり。

障害者スポーツ指導員、スポーツボランティア講習終了者、健康生きがいづくりアドバ
イザー、各種スポーツ指導資格者が多数在籍。

文科省の事業実施に当たり課せられた(最低 1 2 時間)スタッフトレーニングの受講者多
数。

2 5 年間の豊富な活動経験者多数。

2 5 年間の活動で得た関係団体の支援体制が構築されている。

7 事業内容とスケジュール

(1) 事業の具体的な内容

昨年度も多くの関係団体にポスター、チラシを配布したが、ことの重要性を理解して対応してくれた関係者が少なかった。その反省に立ち、事業の内容説明を十分すると同時に、それを理解できる人にアプローチしたい。

今年度も同じ団体にアプローチをすることはもちろん、少し地域と団体を増やす試みをしたい。

行うスポーツ、会場運営は変更しない。(1 回数種目を持参し、参加者は、自分に適したスポーツを行なってもらう。)

可能ならば、障害者、高齢者、児童がチームを作り、試合を多くしたい。

(2) 事業のスケジュール

4 月	ポスター、チラシ、要項の作製
6 月	ポスター、チラシ、要項を配布開始
7 月初旬	マスコミへの PR(マスコミへの出演・新聞の記事となる努力) 用具のチェックと劣化備品の購入と修理 スタッフトレーニング
7 月中旬	岡山県障害者スポーツ協会主催のスポーツ教室実施(5 種目程度)
7 月下旬	ハートフルスポ～ツの集い 【日程】 7 月 3 0 日(日)、8 月 6 日(日)、8 月 2 0 日(日) 8 月 2 2 日(火)、9 月 5 日(火) 9 月 9 日(土) カローリング親善交流大会 ハートフルスポ～ツの集い 【時間】 1 3 時 3 0 分より 1 5 時 3 0 分 9 月 9 日は 1 2 時より 1 6 時 3 0 分 1 2 時 2 0 分より初心者講習。 1 2 時 4 5 分より試合 ハートフルスポ～ツの集い 【種目】 カローリング、スマイルボーリング、スカットボール、クオリティー デッキスティックゲーム、シャフルボード、ダーツ、ラダーゲッター ユニカール、室内ペタンク、室内クップ、バスケットピンポン 卓球バレー、スイートテニス、ラケットテニス、バウンドテニス ソフトバレーボール、バウンスボール、ふらば～る、ヒューストンなど

8 目標

内 容	現 状	目 標 値
用具の貸し出し ニュースポーツの紹介 三者でスポーツ実施 障害者体育施設	市に用具がない 種目団体のある種目はわずか なし 倉敷市にない	市で用具購入 種目団体の発足 既存の施設で可能 既存団体と同時使用 障害者専用体育施設の建設 障害者スポーツの先進都市

9 受益者負担 団体の財源確保のため、可能な限り参加費や受講料などを徴収してください。

徴収する (見込み： カローリング親善交流大会 1名500円 参加賞・賞品あり)

徴収しない(理由：高齢者・障害者行事に参加費を取る慣習なし)

10 事業の見通し

* 2年後、3年後といった将来、事業をどのように展開させますか。

支援学校・障害者施設・市内体育館での定期的スポーツ活動
くらしき健康福祉プラザ体育館での定期活動
市内の小中学校区での障害者のスポーツの導入
集いの反省に立った障害者のスポーツ推進の問題点を明らかにし、今後の活動の指針となるべき資料の作成。

11 他団体との協力

* 他団体と協力して事業を実施するときは、その団体名や役割を記入してください。

岡山県体育協会、岡山県レクリエーション協会、岡山県社会福祉協議会、岡山県障害者スポーツ協会、岡山県障害者スポーツ指導者連絡協議会、岡山県カローリング協会、倉敷市社会福祉協議会 以上は後援団体(チラシ・要項の配布依頼・ポスター掲示など)

12 行政との協働 自主事業コースの団体は記入不要です。

* 協働する市担当部署の名称、役割、協議をした日及び内容を記入してください。

スポーツ振興課 = 体育施設の確保、チラシ・要項の配布、ポスター掲示(市内の体育施設)
スポーツ推進委員協議会・レクリエーション協会への案内など
10月17日・10月25日・10月31日ほか

収支予算書

1 収入の部

科目	内訳	金額(円) ₂	積算根拠
受益者負担	参加費	18,000	加-リーグ親善交流大会 @500×36 = 18000 円
会費からの繰入		136,000	NPO 法人スポーツライフ ' 9 1 天城の負担金
その他		0	
市補助金		270,000	
収入合計		424,000	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	金額(円) ₂	積算根拠
人件費(会員) ₁		31,000	人件費 1000 円 交通費 270 円 1270 円×4 人×6 日 = 30480 円
交通費(会員) ₁		2,000	駐車料(アリオ倉敷) 1500 円
人件費(アルバイト等)		0	
謝金(講師等)		0	
消耗品費		277,000	日本レクリエーション協会(加-リーグ) ジェットローラー 3402×36 = 122472 円、ボールペン 8748 円、ふらば〜る 2140×4 = 8560 円、ソフトボール 1460×4 = 5840 円 計 145620 円 うさぎや(賞状 5200、色模造紙 468×5 = 2340 円、レーザー用紙 1533×4 = 6132 円、クリヤーファイル 792×4 = 3168、高発色加ス 27756 円、ボールペン-他文具 5000 円 計 49596 円 岡山紙業(加-用紙 19344 円) エディオン(インカドリック) 7179×2 = 14358 円 山下体育社(卓球ボール 1458×3 = 4374 円 ハウステンボス 389×2 = 4668 円、ラインナップ 1920×20=38400 円) 計 47442 円
印刷製本費		7,000	倉敷市市民活動センター(コピー、印刷 7000 円)
通信運搬費		10,000	切手 92×100
保険料		9,000	30 円×50 人×6 日 = 9000 円
使用料・賃借料		30,000	軽4トラック(ガソリン代込み)5000×6 = 30000 円
外注費・委託費		0	
対象経費計		366,000	
食糧費		8,000	参加賞(ボールペン)8000 円
人件費		30,000	弁当配付(ガソリン代)5000 円 補助スタッフ(含むガソリン代 500×10 人×5 日 = 25000 円
その他		20,000	賞品 15000 円 子供参加費返金 5000 円
対象外経費計		58,000	
支出合計		424,000	(収入合計と一致)